放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3年 3月 22日　　　　事業所名　放課後等デイサービスだんらん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動ごとにスペースを確保している	
	2	職員の配置数は適切である	○		基準より多く配置	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		室内バリアフリー	外のテラスと地面までに段差があるため、今後段差が解消できるように改善していく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		月に1度振り返りの時間を設けています	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に1度実施	前回改善できなかった事を重点的に改善に繋げるように行っていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		年に1度実施	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後、外部の評価を行い改善に努めていく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○		今年度、コロナウイルス感染予防のため参加を控えている。次年度積極的な参加を行っていく
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		職員全体でケース会議を行い計画を作成	計画の評価が保護者様に分かりやすいように行う必要
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメント、記録を作成	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員全体でプログラムを作成	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		外出、体験活動等を取り入れ固定化しない様にしています	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		利用児にあった課題を提供	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者からの情報提供頂き、利用児に合った計画を行っています	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		ケース会議にて話し合いの場を設けています	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有している	○		申し送りにて情報の共有を行っています	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証･改善につなげている	○		毎日実施	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に1度実施	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○		利用児に合った活動を定期的に見直しています	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参加	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校の行事を把握し対応	学習発表会、運動会前などは活動内容を変更し対応
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		保護者からの希望がある場合行っているが、今後情報の共有を行っていけるように努めていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		今年度、卒業生がいるため、保護者に了解を得て情報の提供を行っていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		他事業所、ゆうゆうセンター等の助言をいただいています	今後は精神科HP等の助言等も検討していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		関わりがないため、地域の行事等で交流が出来るように努めていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		今年度はコロナウイルスの感染予防の為、不参加
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳、送迎だけでなく電話にて対応	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている		○		実施できていない。今後、保護者様に行っていけるように努めていく
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に実施	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		随時受け付けています	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今年度はコロナウイルスの感染予防の為、実施できていない。今年度、コロナウイルスの状況を把握し実施していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情解決窓口を設置しており、契約時に説明しています	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		年に2回法人の広報誌を発行しています	
	35	個人情報に十分注意している	○		保護者さんに同意書を頂き、書庫にて管理しています	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている			構造化を行い色分け、物の配置など視覚化し配慮しています	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		月に1度、地域カフェや年に1度作品展等を行っていたが今年度はコロナウイルス感染予防の為、中止
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		マニュアルはあるが保護者様にまで周知徹底ができていないため、今後周知できるように努めていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に2回実施	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年に1度実施	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に説明しています	身体拘束を行うようなケースはないが、身体拘束を行った場合、保護者様へ報告、記録を行うように徹底していく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		医師の指示を受けるような対象の利用児はいません
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		発生した場合作成	